

# 感謝



PTA会長  
渡部美枝子

去る、九月五日に挙行いたしました葵高等学校創立百十周年記念式典に際しまして、ご多用の所、多数の皆様にご臨席の栄を賜り、おかげをもちまして記念式典、記念事業として校歌の編曲並びに校歌額設置のお披露目や記念講演等、全て滞りなく終了できました。これもひとえに、皆さまのご支援ご協力があったることと深く感謝申し上げます。今後とも皆さまの温かい応援をどうぞよろしくお願いいたします。

私も高校生の時を思い出しました。一つは老人ホームでのボランティア活動です。おじいちゃんおばあちゃんの食事の介助や爪を切ったり、髪の毛を乾かしたり、ホームの廊下等の清掃もしました。決して暇だったからではありません。決せんよ。自主的に、です。

おじいちゃんおばあちゃんからの「ありがとう」。ただただ純粹に誰かのお役に立てることが嬉しかったんですね。帰り際に、また来るね。卒業してからは県外に行ってしまったこともあり訪れなくなっていました。こう言え

る場所があるのは自分の財産だったと今になって思います。もうひとつは、鶴ヶ城で行われた二十四時間チャリティ募金活動です。みなさんご存知の黄色いTシャツを着ました。今は色が選べませんがたしかあの時は黄色しかなかった気がします。他校の生徒さんたちもたくさん来ていて、そこで友達になり、心をひとつにみんなで募金活動をしました。仮眠用として何張りかテントも用意されており、休憩と称してジュースを持ち込み、みんなで語り合った時間も懐かしい思い出です。

二十四時間という限られた時間でしたが、多くの方の誰かのための大きな思いやりになるということをもつて実感したひと時でした。みなさんの温かいお気持ちと、やりきった達成感で「サライ」を歌いながら込み上げてくるものがありましたね。貴重な体験をさせていただいたこと、この活動に携わってほんとにありがとうございました。

今年四月から小学校で道徳の教科が設けられたのも今の世の中を思えば必然かもしれません。高校生の頃の純粹な気持ち思い出し、思いやりという心と共に生きていこうと改めて思います。



(写真協力：放送委員会)



実行委員長あいさつ



校長式辞



歴代校歌演奏



表彰状贈呈



表彰状贈呈



表彰状贈呈



県教育長あいさつ



司会 放送委員会



祝辞



祝辞